

向日市 広報

まちのうごき (3月1日現在)

世帯数 13,718世帯	生まれた人 74人
人口 46,313人	亡くなった人 5人
男 23,087人	転入した人 330人
女 23,226人	転出した人 246人



半日入学の新一年生 (向陽小学校で)

卒業入学 おめでとう

桜の開花とともに、この八日、市内の各小学校で、入学式が行われました。当日、各小学校では午後二時近くになると、入学予定の児童たちには、それぞれお母さんに付き添われて、ぞくぞくと登校して来ました。教室に入り、席について、もソワソワ、うれしさと少々不安な顔の複雑な面持ちでした。それでも、四月八日の入学式が待ちどおしいといわんばかりに張り切っていました。この日、登校して来た

新一年生は、市内で一、〇〇九人でした。学校別に見ると、向陽小二七四人(七クラス)、第二向陽小一九四人(五クラス)、第三向陽小二二一人(五クラス)、第四向陽小一八七人(五クラス)、第五向陽小一四三(四クラス)となつています。

巣立って行った

六三〇人

去る三月十九日、午前九時三十分から、第五向陽小学校を除いた各小学校で、おごそかに卒業式が行われました。式場は、講堂や体育館また、音楽教室などを、



卒業証書を授与—第3向陽小—

それぞれを持ち味を生かして、在校生が会場を飾り、巣立っていく卒業生を学校ぐるみで祝いました。卒業生は、在校生の見守る中を、校長先生から一人一人卒業証書を受け取り、将来に向かって思いを走らせているかのようになり、永年の学校生活を伴った先生、給食のおおさん、用務員のおじさん、在校生に「永い間お世話になりました。私たちは希望に向かって力いっぱいがんばります」と誓いました。

この卒業式で行ったのは全校で六三〇人でした。学校別では、向陽小学校一九四人、第二向陽小学校一四八人、第三向陽小学校一八〇人、第四向陽小学校九十九人でした。

消防本部 消防庁長官表彰を受賞

この受賞は、去る三月四日、東京都の日本消防会館ホールで消防庁長官から表彰されたものです。消防マンにとって最高の荣誉とされている消防庁長官表彰は、市消防本部と市消防団が受賞しました。一自治体で本部と団が同時受賞するのはまれであり、今回は全国で受賞三十一団体のうち七団体が同時受賞を受けました。また京都府下ではさる三十年の宇治市について二度目で、すぐれた施設、火災防火の実績、防火思想の普及などが認められました。

去る三月二十日、この表彰を祝う記念式典が市民会館で行われました。式典に先駆け午前九時三十分、阪急東向日駅前から競輪場前までパレードをくり広げ、沿道の市民から拍手を浴びながら、表彰とともに喜び合いました。

パレードは、西山女子高等学校のバトンガールを先頭に、京都市の消防音楽隊や各種団体など約五百人が出席し盛大に行われました。



表彰状と表彰旗を手に左から芝消防長、青森消防団長

また、記念式典は、午前十時から会場の市民会館に市の消防本部職員、消防団員全員のほか行政関係者や各種団体など約五百人が出席し盛大に行われました。

表彰は、松尾府副知事から芝消防長と青森団長にしっかりと手渡されました。このあと民秋市長は「近年の火災は、過密化した町なみの中で、各家庭において多種多量の建築材や可燃物を使用しています。このため火災の危険性は高まる一方です。このような中で

常防火に努めていただい、市会議員から祝辞がありました。消防職員・団員の皆さんと、市民皆さんの深いご理解とご協力が今回実を結んだものと思えます。この荣誉は市民の誇りです」と式辞を述べました。続いて芝消防長の経過報告、松尾副団長の決意を示められ、式典の幕を閉じました。

最後に、青森団長は「この表彰は団員、団員、それら先達達の努力の集積です。これを機会に一層の使命感を持って臨みたい」と、消防団の決意を示められ、式典の幕を閉じました。

防火意識は 市民ぐるみで

私たちの町は、全国平均から見ても火災発生件数は格段に少ないです。過去五年間の焼失面積は、本市二五・六㎡に対し、全国平均では六二・六㎡、中小都市では五八・六㎡となつています。昭和二十三年に消防団が発足して以来、現在まで延焼(二棟以上焼失)した火災は一件もありません。これは、消防本部と消防団が一体となつて、強固な協働のもとに防火に努め、また、市民のみならず、それぞれ防火の意識を持つていたことにあるといえます。

これら消防団は、各地の市民の有志から構成され、火災発生時には、市の消防本部と連絡を取り、火災現場へ直行できるように配備されています。

また、消防施設の整備で、その機動力は、国の示す基準の三倍にも達しています。消防ポンプ自動車は六つの消防団(物集女地区、寺戸地区、森本地区、鷲冠井地区、上植野地区、向日地区)に各一車両が配備されています。

また、消防ポンプ自動車の整備で、その機動力は、国の示す基準の三倍にも達しています。消防ポンプ自動車は六つの消防団(物集女地区、寺戸地区、森本地区、鷲冠井地区、上植野地区、向日地区)に各一車両が配備されています。

交通災害共済に加入を

- 1日1円の掛金で、思いがけない交通災害に備えて、「交通災害共済」に加入しましょう。
- この制度は、交通事故による死亡、傷害に見舞金を支払うものです。
- 掛金 1人330円 (おとなも子どもも)
- 共済期間は1年間 (昭和51年4月1日~52年3月31日)
- 申込みは……… 市民安全課 (2階) 電話 931-1111

